

## 新刊紹介と次号人一覧表題別の索引

# アジア情報室通報

Bulletin of Asian Resources Room

第1巻第2号(2003年6月)

## 目次

アジア情報室の資料収集－入手方法と資料概要	2
中国語資料 朝鮮語資料 諸地域資料	
新着参考図書目録(2002.10～2003.4)	5
アジア地域の国立図書館のホームページ (1)	10
中国国家図書館	
フィリピン国立図書館 インドネシア国立図書館	
マレーシア国立図書館 シンガポール国家図書館管理局	
ベトナム国家図書館	
アジア各国の基本情報、統計データ入手するため	13
レファレンス事例紹介	15
アジア情報研修を終えて	16
アジア情報関係機関との懇談会の開催	富塙高志 18

国立国会図書館  
National Diet Library

## アジア情報室の資料収集－入手方法と資料概要

アジア情報室が所蔵するアジア言語資料は、図書は当館が1986年以降受入れたもの、雑誌、新聞等の逐次刊行物は当館が所蔵するすべてである。これらの資料は、購入、国際交換、寄贈、そして国内出版のアジア言語資料は納本によって収集されたものである。国際交換の占める割合が比較的高いこと、国内出版物の納本制度による収集および日本関係資料の収集は、国立図書館としての機能によるものである。

以下、アジア情報室の資料について、中国語、朝鮮語およびそれ以外の地域に分けて、入手方法別に見た概要を紹介する。

### 中国語資料

収集上の大いな方針としては、人文科学、社会科学分野については、参考図書のほか、基本図書、学術書を収集し、自然科学、科学技術分野は参考図書を中心とした収集を行っている。

#### 1. 購入

##### 1-1 図書

中国の出版物については国内書店のほか、中国国家図書館を通じた購入を行っている。

分野としては、これまで蓄積の厚い歴史・地理、文学関係のほか、近年は政治・法律、経済等の社会科学分野にも留意した収集を行っている。また、個別分野としては、地方史・誌、日本関係、華人・華僑関係、図書館・情報学関係に重点を置いている。

地方史・誌は、中国を総合的に知る基本資料として「中華人民共和国地方志叢書」をはじめ網羅的な収集を心がけている。旧満州国や抗日戦争関係にとどまらず、日本関係資料の出版も増加しており、国立図書館としてできるだけ収集するようにしている。日本文学の翻訳書は、古典や全集について収集している。

図書館・情報学関係、特に書誌学関係は網羅的な収集につとめている。

大型の叢書・コレクションは収集経費を勘案しながらこれまでいくつか入手している。現在、『続修四庫全書』『四庫全書存目叢書』等の収集を検討している。中華民国期から1990年代前半の刊行資料約17万冊のコレクションである「上海新華書店旧蔵書」については、当館月報No.504(2003年3月)を参照。

また、台湾と香港関係の基本図書の充実を図るために、それぞれ平成6年に中国語461タイトル、欧文85タイトル、平成8年に中国語413タイトル、欧文890タイトルを収録するウォントリストを作成している。

中国国家図書館が提供する書誌情報から入手する資料を選択する方法で行っている購入を、平成11年度から開始した。国内書店では入手の困難な資料も含まれていること、また、到着した資料の汚・破損等の問題もなく、今後も継続して行く予定である。

##### 1-2 逐次刊行物（年鑑、雑誌、新聞等）

逐次刊行物は後述する国際交換の項で併せて述べる。

#### 2. 國際交換

中国国家図書館とは昭和30年から開始し、台湾の国家図書館とは昭和36年から主要な官庁出版物の包括交換を開始した。平成14年度で、実際に交換実績があ

ったのは中国58機関、台湾30機関である。

両館のほか、上海図書館、北京大学図書館、香港中文大学馮平山図書館、国立中央図書館台湾分館などが主要な交換相手先である。

##### 2-1 図書

数はそれほど多くはなく、この数年間で、中国からは年平均400冊、台湾からは200冊を入手している。台湾の場合、包括交換対象機関である国家図書館からの政府出版物が多い。

##### 2-2 逐次刊行物

###### ① 年鑑、白書、報告書等

統計情報をはじめ、多数の年鑑が刊行されている。統計年鑑、出版年鑑をはじめとする全国レベルの年鑑や省・特別市・自治区の総合年鑑は可能な限り広く収集している。また、「白皮書」「藍皮書」「緑皮書」「年度報告」などの出版も盛んであり、貴重な一次情報源として重点的に収集している。

中国国家図書館からは、各省の経済統計年鑑等を入手している。

###### ② 雑誌

平成14年度末現在で購入、納本を合わせて1,593タイトルを継続収集しているが、うち約30%が国際交換による。

学報類、図書館・情報学関係のほか、医学、科学技術分野も含め幅広く収集しており、複印報刊資料は全分野を揃えている。

また、台湾については国家図書館との包括交換により政府出版物を多く所蔵している。

###### ③ 新聞

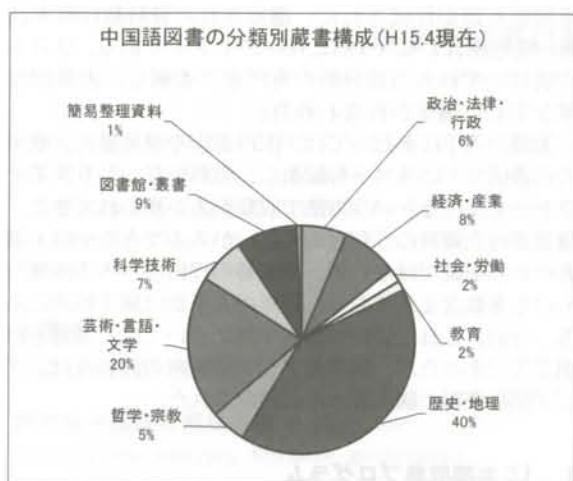
購入のほか、中国国家図書館、上海図書館との国際交換で入手している。中国については、全国紙、専門誌のほか、アジア情報室の開設にあわせて省レベルまで収集している。

##### 3. 納本・寄贈

在日中国人を対象とする雑誌、新聞等が相当数出版されているが、これらは納本により収集している。

###### 【蔵書構成】

中国語図書の当館分類表による蔵書構成を見ると、歴史・地理分野が40%、次いで文学関係が20%を占める。政治、経済、社会、教育関係の社会科学分野は全体で18%でしかない。これは、中国の出版傾向と利用者ニーズを反映したものもあるが、今後はより一層、研究動向や利用者ニーズに配慮した収集を行っていきたい。



## 朝鮮語資料

### 1. 購入

購入の具体的な方法は、韓国や国内書店の新刊案内リスト・カタログ等で選んだものを関西館に送付してもらう見計らい選書方式である。

辞書・年鑑、年報、白書類、年表類、人名辞典、会社・団体名録、書誌類、地図・地名辞典、百科事典、図鑑等の参考図書を積極的に購入しているほか、以下の資料群に重点を置いている。

- (1) 年鑑類
- (2) 統計類
- (3) 地方史誌
- (4) 企業、団体、社史類
- (5) 政府の白書、市政白書

(1)～(3)については、特別市、広城市、道の単位まで収集することを目指している。また、韓国では「インターネット年鑑」「海事物流年鑑」などの産業別年鑑の出版が増えてきており、年鑑類の中で新たな一角を占めている。(5)の市政白書は未だ入手が難しく、今後の課題である。

関西館アジア情報室開室にあわせ平成12年度から平成14年度にかけ、学術誌を中心に雑誌約120タイトルを新たに購入した。同時に、近年国際交換での受入れが不安定になっていた北朝鮮の雑誌の大部分を購入に切り替えた。新聞は全国紙以外に「江原日報」「光州日報」など地方紙を数タイトルを新たに追加した。

### 2. 国際交換

交換先は、平成14年度末現在で韓国47機関、北朝鮮2機関が登録されている。韓国についてみると、大学関係機関が約半数を占める。

#### ① 日本関係資料

韓国国立中央図書館から年1回、最近1～2年間に韓国で刊行された日本関係資料のリストの提供を受けて選書している。なお、当館からも同様に日本刊行の韓

国関係出版物を送付している。

#### ② 政府刊行物

韓国国会図書館から、統計資料や年次報告書などの政府刊行物を中心に入手している。一般市場では入手の難しい資料が多く、貴重な収集ルートである。

#### ③ 大学出版物

ソウル大学、釜山大学、高麗大学、成均館大学、梨花女子大学などの大学図書館、博物館、アジア・日本・歴史・経済等に関する研究所との交換により、研究報告や論文集などの大学出版物を入手している。

また、雑誌、特に専門誌・学術誌は、韓国国立中央図書館および韓国国会図書館との交換による収集が、中国と同じく継続誌の約30%を占めている。

### 3. 寄贈

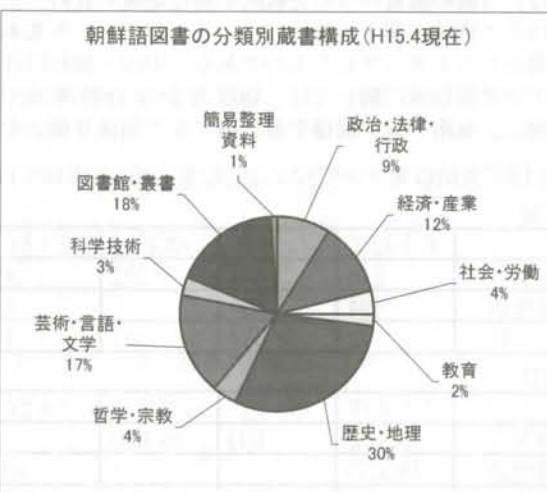
関西館開館前までは、東京の韓国文化院から定期的に寄贈を受けており、朝鮮語資料構築の大きな柱となっていた。また、韓国の国史編纂委員会からは同委員会刊行の韓国歴史関係資料の寄贈を早くから受けており、現在も量的には少ないが継続している。

### 4. 納本

地方自治団体が発行するパンフレットや日本に居住する韓国・朝鮮人が発行する朝鮮語雑誌、新聞が増加しており、納本資料として収集している。

#### 【蔵書構成】

所管朝鮮語図書の分類別蔵書構成をみると、歴史・地理分野が大きな割合を占めている。「朝鮮王朝実録（李朝実録）」（韓国発行と北朝鮮発行のものを所蔵）、「日省録」、「備邊司騰錄」などの史料がその一角を成しているとともに、利用者の要求もこの分野に関連するものが多く、優先的に収集された結果であろう。次に図書館・叢書が多く、ここには大型コレクションの一つ『韓国歴代文集叢書』（現在整理途中）や百科事典、書誌等が含まれる。また、科学技術、教育などの分野については、これまで参考図書や基本図書の出版自体が少なかったが、多様化しつつある韓国の出版状況をみると、今後収集することを検討したい。



## 諸地域資料

中国語、朝鮮語資料を除いたアジア諸地域（東南アジア、南アジア、中央アジア、中東・北アフリカ）の資料収集の状況を紹介する。

### 1. 國際交換

当館のアジア諸地域資料の収集においては、国立図書館を中心とするアジア各国の関係機関との国際交換が大きな役割を果たしている。なかでも政府刊行物や逐次刊行物は国際交換に拠るところが大きい。ここ数年で交換実績があった機関として、フィリピン、ベトナム、シンガポール、ミャンマー、インド、スリランカ、イラン、トルコ、アルジェリア、チュニジアの各国立図書館などが挙げられる。

ただし、国際交換の場合、財政的事情や情報資源の電子化ということもあり、特に逐次刊行物の継続的な入手が課題である。

### 2. 購入

欧米出版のアジア関係資料は、主に国内外の書店経由で購入している。アジアの現地出版物については、日本国内の取り扱い書店が限られていること、流通機構の不整備のため現地からの直接購入が難しいことなどから、安定的な入手方法は確立されていない。ただし、取り引きのある若干数の現地書店からは、当該地域の出版物を安定して購入することができている。例えばXunhasabaはベトナムにおいて出版物の輸出入を一手に扱っており、当館は多数のベトナム出版物をここから購入している。

また、大型コレクションの一括購入なども行なっており、過去の大規模な例としては、昭和55年度に国内関係機関との協力において購入したペルシャ語コレクションが挙げられる。

### 3. ウォントリスト

しかし、これらの方法だけでは整合性のある蔵書構築には不十分であるという認識が從来からあった。そこで、系統立った蔵書構築のための試みとして、ウォントリストによる収集も行ってきた。ウォントリストとは、当館の蔵書のうち比較的手薄な地域の資料、またはその地域に関する資料について、収集すべき基本図書をリストアップしたものである。中国・朝鮮以外のアジア諸地域に関しては、1977年から1990年までの間に、東南アジア関係7冊、南アジア関係9冊、中

(表1)LC共同収集プログラムによる収集実績(平成10年11月-平成15年3月)

#### 図書

	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ブルネイ	フィリピン	タイ	ベトナム	その他	合計
欧文	218	484	292	31	160	30	3	18	1,236
現地語	494	100	-	13	10	120	35	-	772
合計	712	584	292	44	170	150	38	18	2,008

#### 雑誌

	インドネシア	マレーシア	シンガポール	ブルネイ	フィリピン	タイ	ベトナム	その他	合計
欧文	6(143)	1(1)	16(453)	-	2(17)	2(9)	-	-	27(623)
現地語	18(527)	-	-	1(4)	3(151)	6(35)	-	-	28(717)
合計	24(670)	1(1)	16(453)	1(4)	5(168)	8(44)	-	-	55(1,340)

東関係6冊が作成された。選定された資料数は欧米言語、現地語合わせて約12,000タイトルである。リスト作成はいずれも当該分野の専門家に委嘱し、古典的文献を中心に選定が行なわれた。

実際の入手にあたっては、国内書店や現地書店、欧米の古書店などにリストを配布し、資料が見つかり次第オファーを受けるという方法で収集努力が払われてきた。選定された資料のうちどのくらいが入手できたかは未調査のため明確ではないが、絶版等の理由から入手困難なものも多数含まれており、近年の入手数は減少傾向にある。なお、これら資料の購入予算については、通常とは別立てであったが、関西館アジア情報室の設置後は、アジア関係資料の購入費の中に吸収された。

### 4. LC共同収集プログラム

現地での収集活動は効果的な入手手段のひとつであるが、継続性を保持するためには現地事務所の運営など相当の労力と経費が必要となる。そこで、より効率的な収集手段として採用したのが、米国議会図書館(LC)の共同収集プログラム(Cooperative Acquisitions Programs、略称CAP)への参加である。

LCは1962年より世界6ヶ所(ジャカルタ、ニューデリー、イスラマバード、カイロ、ナイロビ、リオデジャネイロ)に事務所を設置して、現地資料の収集を行なうと同時に、1965年からは学術研究機関を主な対象とした共同収集プログラムを行なっている。プログラム参加館は、国・分野・言語などによって分けられた項目の中から収集を希望するものを選択する。雑誌についてはタイトルリストの中から選ぶ。こうしてできたプロファイルに基づいて、LCが収集・整理・送付を行なうという仕組みである。プロファイルは1年ごとに更新が可能である。参加館は選択した項目に応じて、年間の収集活動に必要な費用を事前に支払わなければならない。

当館は平成10年11月より、ジャカルタ現地事務所が行なっている東南アジア共同収集プログラムに参加している。対象国はインドネシア、マレーシア、シンガポール、ブルネイの4カ国である。フィリピン、タイ、ベトナムについてはプロファイルを作成していないが、先方からの個別のオファーを受けて選書を行なっている。平成15年3月時点での収集実績は(表1)の通りである。本プログラムで収集した資料には、一般には入手の難しい政府刊行物や地方出版物も含まれており、引き続き継続することで当該地域の蔵書構築に大いに資することができる。

## 新着参考図書目録 (2002. 10~2003. 4)

2002年10月から2003年4月までの間に、アジア情報室に新しく開架した中国語、朝鮮語資料の目録である。今後、日本語図書および欧文図書についても紹介していく予定である。  
言語ごとに『国立国会図書館分類表』の大要によって分類し、各主題の中は請求記号順に排列した。  
記入は書名、編著者、出版事項、形態、請求記号の順に記載し、必要と思われる資料には解題を付した。  
ハングルのみのタイトルの資料には邦訳を補記した。

## 中国語

## &lt;政治・法律・行政&gt;

跨世紀中國政府機構名錄 = Directory of the turn-of-the-century Chinese government departments and agencies / 新華通訊社對外新聞編輯部編輯. — 香港: 大公報(香港), 1999. 6. — 397p; 30cm  
A112-C57

中国历代官称辞典/赵德义, 汪兴明主编. — 北京: 团结出版社, 1999. 11. — 158, 614p; 21cm A112-C58

中华军事职官大典/季德源主编. — 北京解放军出版社, 1999. 2. — 2, 4, 2, 65, 704p, 図版 12p; 21cm  
A2-C48

中国公安辞典/《中国公安辞典》编审委员会[编]. — [北京]: 群众出版社, 1999. 9. — 1, 3, 75, 1206p; 27cm  
A2-C49

新中国民族工作大事概览: 1949-1999/罗广武编著. — 北京 华文出版社, 2001. 1. — 3, 2, 1096p; 21cm  
A68-C9-C12

环境法/戚道孟主编. — 天津: 南开大学出版社, 2001. 3. — 4, 440p; 22cm AC9-451-C8

中国著作权实用手册/国家版权局办公室编. — 北京: 中国书籍出版社, 2000. 6. — 22, 2, 920p; 21cm.  
AC9-551-C5

## &lt;経済・産業&gt;

中国对外经济合作大辞典/王垂芳主编. — 上海: 上海科学技术文献出版社, 1999. 7. — 2, 2, 1, 1, 1, 19, 525p; 27cm  
D2-C102

日汉贸易辞典/李荣标编著. — 北京: 对外经济贸易大学出版社, 2000. 6. — 880p; 27cm D2-C103

中国汽车工业企事业单位大全/中国汽车工业协会, 中汽华轮公司, 中国汽车报社编. — 北京: 人民交通出版社, 2000. 6. — 577p; 26cm. D4-C39

## &lt;社会・労働&gt;

中國飲食文化辞典/汪福寶, 莊華峰主編. — [合肥]: 安徽人民出版社, 1994. 3. — 17, 63, 713p; 21cm.  
E2-C18

百年中国儿童 = Chinese children in the 20th century/中国青少年研究中心主编 — 广州: 新世纪出版社, 2000. 10. — 46, 582p; 31cm. EF81-C4

## &lt;教育&gt;

教育大辞典/顾明远主编; 上, 下. — 增订合编本. — 上海: 上海教育出版社, 1998. 8. — 2 冊; 29cm  
F2-C9

初版は1992年刊。用語、歴史、人物、学校など23,000項目を収録。排列はピンインアルファベット順。巻頭に分類索引、巻末に筆画索引を付す。

奥林匹克运动百科全书/任海主编; 崔乐泉, 孙葆丽副主编. — 北京: 中国大百科全书出版社, 2000. 7. — 8, 606p; 30cm  
FS2-C12

## &lt;歴史・地理&gt;

中华人民共和国地名大词典/崔乃夫主编; 第1-3卷. — 北京: 商务印书馆, 1998. 1. — 3 冊; 27cm  
GE11-C22

中国地名由来詞典 = Chinese placenames original dictionary/牛汝辰编. — 北京: 中央民族大学出版社, 1999. 6. — 3, 2, 50, 552p; 21cm  
GE11-C23

中华名人名事名言辞典/黄金华, 沈宝良主编. — 上海: 汉语大词典出版社, 1999. 5. — 2, 15, 839p; 19cm  
GE12-C72

历代名人室名別号辞典/池秀云编撰. — 増訂本. — 太原: 山西古籍出版社, 1998. 1. — 2, 3, 2, 17, 1231p; 21cm  
GE12-C73

初版は1994年刊。古代から現代までの中国における著名人の号13,796件と室名13,697件を収録。排列は筆画順。姓名、字、号、室名、朝代、籍貫(本籍)、生没年、事跡、著作を記載。巻末に筆画順の人名索引を付す。

绰号异称辞典/谢苍霖編著. — 南昌: 江西高校出版社, 1999. 1. — 1, 2, 2, 134, 1033, 142p; 21cm  
GE12-C74

古代から清末明初までの歴史上の人物の綽名、異称約9,000を収録。排列は分類順。「形貌」、「挙止」、「性氣」など26の大分類と40の小分類に分け、その中を年代順に排列。巻末に筆画索引を付す。

中国历代人名大辞典/張撝之, 沈起炜, 刘德重主编; 上, 下. — 上海: 上海古籍出版社, 1999. 12. — 2 冊; 27cm  
GE12-C75

古代から辛亥革命までの中国の歴史上の人物約54,500人を収録。生没年、本籍地、事跡などの略伝とその典拠を記載。排列は筆画順。付録として「夏、商、

周（共和以前）世系表」、「歴代紀年表」を付すほか、卷末に四角号码索引を付す。

明清档案通览/《明清档案通览》编委会[編]. — 北京: 中国档案出版社, 2000.8. — 28, 588p; 21cm. — (中国历史档案资料目录丛书). GE291-C98

中国藏学论文资料索引: 1872-1995/刘洪记, 孙雨志合编. — [北京]: 中国藏学出版社, 1999.12. — 7, 5, 783p; 26cm. GE2-C135

中国考古学文献目录: 1983-1990/中国社会科学院考古研究所资料信息中心[編]. — 北京: 文物出版社, 2001.3. — 2, 1, 26, 1081p; 27cm. GE2-C66

江苏文物古迹通览/唐云俊主编; 束有春副主编. — 上海: 上海古籍出版社, 2000.1, 2, 2, 1, 25, 389p, 図版8枚; 30cm— (江苏文物丛书). GE394-C101

澳门百科全书/中国大百科全书出版社, 澳门基金会编纂; 吴志良, 杨允中主编. — 北京: 中国大百科全书出版社, 1999.10. — 2, II, 1, 41, 718p, 図版[40]p; 27cm. GE448-C7

マカオの歴史、地理、経済、人物などの用語約3000項目を収録。排列はピンインアルファベット順。付録として年表、参考文献などを付すほか、卷末に筆画索引を付す。

中国博物別名大辞典/孙书安编著. — 北京: 北京出版社, 2000.4. — 17, 3, 21, 963, 165, 2p; 27cm. GE8-C75

民国以前の文献に記載されている生物、物質、天体、気象などの物の学名または通称約4,000の見出し語のもとに別名約25,000語を収録。排列は画数順。卷末に別名索引を付す。

外藩蒙古回部西藏王公传记索引/宝音图, 宝日吉根编著. — 呼和浩特: 内蒙古大学出版社, 1999.10. — 8, 368p; 21cm — (内蒙古大学学术丛书). GK2-C9

#### <哲学・宗教>

中国民间秘密宗教辞典/濮文起主编. — 成都: 四川辞书出版社, 1996.8. — 1, 2, 58, 524p; 21cm. HK2-C8

佛经解说辞典/刘保金著. — 开封: 河南大学出版社, 1997.8. — 2, 2, 27, 563p; 21cm. HM2-C8

中國佛教人名大辭典/震華法師遺稿; 《中國佛教人名大辭典》編輯委員會[編]. — 上海: 上海辭書出版社, 1999.11. — 10, 71, 1176p; 27cm. HM4-C3

16,973項目を収録。法名を見出しつし、生卒年、出身地などのデータを記載。排列は筆画順。卷末に「中國佛教大事年表」を付す。

#### <芸術・言語・文学>

中国古建筑文献指南: 1900-1990/陈春生, 张文辉, 徐荣编著. — 北京: 科学出版社, 2000.10. — xxiv, 586p; 27cm. KA1-C1

新中国美术图史 = The art history of the People's Republic of China: 1949-1966, 1966-1976. — 北京: 中国青年出版社, 2000.-. — 2冊; 26cm. KC271-C13

新编日语外来语辞典/张作义主编. — 北京: 北京大学出版社, 2001.1. — 2, 4, 1386p; 19cm. KK12-C18

现代汉语特殊同义词词典/严戎庚, 刘永耕, 詹继曼编著. — 乌鲁木齐: 新疆人民出版社, 2000.8. — 2, 1, 2, 38, 499p; 21cm. KK12-C182

汉字语源字典: 图解本/谢光辉主编. — 北京: 北京大学出版社, 2000.8. — 5, 49, 543p; 21cm. KK12-C184

简明汉法词典 = Dictionnaire concis chinois-français/张以群, 蒋重祯编. — 上海: 上海教育出版社, 2001.12. — 18, 78, 778p; 19cm — (上外(SISU/西索) 简明汉外系列词典). KK12-C185

现代汉语大词典/《现代汉语大词典》编委会编纂; 上册, 下册. — 上海: 世纪出版集团, 汉语大词典出版社, 2000.12. — 2冊; 27cm. KK12-C186

親字約15,000、見出し語約100,000を収録。排列は部首別画数順。卷末に拼音索引を付す。

标准汉语字典/张书岩主编. — 上海: 汉语大词典出版社, 2000.12. — 2, 53, 822p; 20cm. KK12-C187

新编汉英词典 = A new Chinese-English dictionary/李正中, 周方和主编. — 上海: 上海远东出版社, 1998.8. — 5, 56, 1020p; 14cm. KK12-C188

新词新语词典/姚汉铭主编. — 西安: 未来出版社, 2000.3. — 2, 2, 1, 2, 134, 469p; 21cm. KK12-C190

语海/《语海》编委会主编; 上, 下. — 上海: 上海文艺出版社, 2000.1. — 2冊; 27cm. KK12-C191

諺語・俗語・慣用語など10万余語を収録。排列は筆画順。卷末にピンインアルファベット順索引を付す。

引用语大辞典/朱祖延编著. — 武汉: 武汉出版社, 2000.9. — 3, 3, 117, 1015p; 30cm. KK12-C193

同一著者による「引用语大辞典」(四川辞書出版社、1994年)を増補修訂したもの。書物に引用された成語約7,000件を収録。排列はピンインアルファベット順。卷末に筆画索引を付す。

中国诗学大辞典/傅璇琮[等]主编. — [杭州]: 浙江教育出版社, 1999.12. — 2, 5, 85, 1563p, 図版14p; 27cm. KK62-C82

中國文學大辭典/錢仲聯[等]总主编; 上册, 下册. — 修订本. — 上海: 上海辞书出版社, 2000.9. — 2冊; 21cm. KK62-C83

初版は1997年刊。約18,000語を収録。「先秦两漢文学」「現代文学」「民間文学」「文学理論批評」など12に大別し、その中を「作家」「作品」「参考資料」などに分類して排列。付録として年表、引用書目を付すほか、卷末に筆画順索引を付す。

江淹集逐字索引 = A concordance to the works of Jiang Yan/劉殿爵, 陳方正, 何志華主編. — 香港: 中文大學出版社, 2001. — xxiii, 91, 592p; 27cm — (魏晉南北朝古籍逐字索引叢刊 = ICS Concordances to works of Wei-Jin and the northern and southern dynasties; 集部; 第11種). KK81-C8

梁武帝蕭衍集逐字索引 = A Concordance to the Works of Liang Wudi Xiao Yan/劉殿爵, 陳方正, 何志華主編. — 香港: 中文大學出版社, 2001. — xxv, 49, 574p; 27cm — (魏晉南北朝古籍逐字索引叢刊 = ICS Concordances to works of Wei-Jin and the northern and southern dynasties). KK81-C9

新德汉词典 = Das neue Deutsch-Chinesische Wörterbuch/潘再平主编. — 《德汉词典》修订本. — 上海: 上海译文出版社, 2000.7. — 8, 1486p; 21cm KS272-C6

#### <科学技術・医学>

中国网络语言词典/于根元主编; 刘海燕[等]副主编. — 北京: 中国经济出版社, 2001.6. — 51, 351p; 21cm M2-C30

全国林业图书综录: 1949-1995/北京林业大学图书馆编. — 北京: 中国林业出版社, 2000.5. — 840p; 26cm RB1-C4

#### <学術一般・図書館>

广播电视辞典/赵玉明, 王福顺主编 — 北京: 北京广播学院出版社, 1999.10. — 2, 46, 872p; 21cm UC2-C9

中国出版史料: 現代部分/宋原放主编; 吴道弘, 张立升, 王建辉副主编; 第1卷 上册 - 第3卷 下册. — 济南: 山东教育出版社; [武汉]: 湖北教育出版社, 2001.4. — 5 冊; 21cm UE21-C36

1919年から1999年までの間に発表された出版、印刷、発行などに関する史料300余件を収録。3巻卷末に年表、統計、研究書解題を付す。

张家口市图书馆藏日文圖書文献目錄/张家口市图书馆編. — [张家口]: 张家口市图书馆, 2001.3. — 2, 4, 1, 584p; 30cm UP115-C31

察哈尔省立图书馆を前身とする张家口市图书馆所蔵の1903年から1945年に刊行された日本語図書11,530タイトルを収録。排列は分類順で、分類は中国图书馆図書分類法第二版による。卷末に書名の五十音順索引を付す。

全国总书目/新闻出版署信息中心, 中国版本图书馆编; 2000上, 下册. — 北京: 中华书局, 2002.6. — 2 冊; 27cm UP5-C1

#### 朝鮮語

##### <政治・法律>

法律文献索引/서울대학교图书馆編; 1 - 5. — 서울: 서울대학교出版社, 1978.10. — 5 冊; 27cm  
2以降の編者: 서울대학교法學图书馆  
1: 1945-1974. 2: 1975-1985. 3: 1986-1992. 4:  
1993-1995. 5: 1996-1998 A111-K5

大韓民國國會五十年史/李龍海編輯. — 서울: 國會事務處, 1998.5. — xi, 1413p, 図版 64p; 26cm AK4-241-K15

##### <経済・産業>

韓國銀行 50 年史; [本編], 別冊. — 서울: 韓國銀行, 2000.6. — 2 冊: 肖像; 27cm  
標題紙に"1950 · 2000"の表記あり 歴代総裁の肖像:  
別冊 p11-16 年表: 別冊 p17-99 DF256-K16

韓國郵政 100 年史/한국우정 100 년사편찬위원회編纂.  
— [서울]: 대한민국 체신부, 1984.11. — 820p, 図版 10 枚; 27cm  
索引あり 折り込 4 枚 DK321-K4

##### <社会>

한국복지단체총람 = The directory of Korean welfare organization/복지연합신문사 [편]. — 서울: 복지연합신문사, 1998.11. — 1043p; 27cm  
(韓国福祉団体総覧) E4-K4

##### <歴史・地理>

1:5000 서울지번도. — 죄신판. — 서울:  
영진문화사, 2002. — 328p; 38cm  
(1:5000 ソウル地番図) G71-K9

중국당대조선족인명사전/정관룡 주필. — 심양: 료녕 민족출판사, 1995. — 4, 46, 581p; 21cm  
奥付標題: 中国当代朝鲜族人名辞典 GE12-K13

우리 생활 100년. 집/김광언 지음. — 서울: 현암사, 2000.12. — 384p; 20cm. — (방일영문화재단한국문화예술총서; 16).

参考文献: p[381] 索引あり  
(私たちの生活 100 年. 家) GE141-K47

護國戰歿勇士功勳錄/國防軍史研究所[編]; 第1卷 - 第9卷. — [서울]: 國防部, 1996.12-1998.12. — 9 冊; 27cm

第1卷: 創軍期: 간대봉-김수학. 第2卷: 創軍期: 김숙봉-류지열. 第3卷: 創軍期: 류지용-서인흡. 第4卷: 創軍期: 서임조-유재옥. 第5卷: 創軍期: 유재익-이철규. 第6卷: 創軍期: 이쾌희-조원복. 第7卷: 創軍期: 조원호-황화식. 第8卷: 韓國戰爭: 가득순-강문여. 第9卷: 韓國戰爭: 강문열-강여현 GK15-K32

## &lt;芸術・言語・文学&gt;

**우리 건축 100년**/신영훈, 이상해, 김도경 지음. — 서울: 현암사, 2001. 11. — 384p; 20cm. — (방일영문화재단 한국문화예술총서; 9).  
参考文献: p[356]-358 索引あり  
(私たちの建築 100 年) KA93-K19

**한국조각사 논저해제**/ 김리나책임편집, 한국미술연구소 편. — 서울: 시공사, 2001. 3. — 385p; 24cm  
(韓国彫刻史論著解題) KB1-K1

**한글글꼴용어사전** = Korean font dictionary/세종대왕기념사업회 한국글꼴개발원 지음. — 서울: 세종대왕기념사업회, 2000. 12. — 423p; 23cm  
参考文献: p300-338  
(韓国フォント用語辞典) KC531-K1

**우리 무용 100년**/김경애, 김채현, 이종호 지음. — 서울: 현암사, 2001. 11. — 439p; 20cm. — (방일영문화재단 한국문화예술총서; 6).  
参考文献: p[421]-424 索引あり  
(私たちの舞踊 100 年) KD375-K4

**우리 연극 100년**/서연호, 이상우 지음. — 서울: 현암사, 2000. 12. — 416p; 20cm. — (방일영문화재단 한국문화예술총서; 7).  
索引あり  
(私たちの演劇 100 年) KD541-K9

**韓國世界文學文獻書誌目錄總覽**/檀國大學校附設東洋學研究所 [편]. — [서울]: 壇國大學校出版部, 1992. — 1650p; 27cm. — (東洋學叢書). KJ41-K6

**漢韓大辭典**/檀國大學校附設東洋學研究所編纂: 4. — 서울: 檀國大學校出版部, 2001. — 1330p; 28cm  
KJ42-K57

**한국고전용어사전**/세종대왕기념사업회 한국고전용어사전편찬위원회 편; 1 - 5. — 서울:  
세종대왕기념사업회, 2001. — 5 冊; 27cm  
1: ㄱ-ㄴ, 2: ㄷ-ㅂ, 3: ㅅ-ㅇ, 4: ㅈ-ㅊ, 5: ㅊ-ㅎ  
(韓国古典用語辞典) KJ42-K72

**우리말 분류 사전 2**/남영신엮음. — 서울: 한강문화사, 1987. — 1000p; 27cm  
부록: 북한에서 쓰이는 우리말  
(韓国語分類辞典) KJ42-K8

**20 세기 한국 문학의 탐험**/장석주 [편]; 1 - 5. — 서울: 시공사, 2000. — 5 冊; 25cm  
1: 1900 - 1934, 2: 1935 - 1956, 3: 1957 - 1972, 4: 1973 - 1988, 5: 1989 - 2000  
索引あり  
(20 世紀韓国文学の探検) KJ51-K16

## &lt;科学技術&gt;

**Multilingual dictionary of scientific and technical terms** = Mehrsprachiges Wörterbuch der Wissenschaftlichen und Technischen Terminologien = Dictionnaire polyglotte des termes scientifiques et techniques = Многоязычный словарь научно-технических терминов = 多语科学技术词典 = 多国語科学技術用語辞典 = 여러나라말 과학기술용어사전/과학원 사전편찬위원회 편; 3, 15, 18. — [평양]: 조선민주주의인민공화국 과학원, 1996. — 3 冊; 26-27cm  
3: Physics, 15: Atomic energy, 18: Medicine = 物理・独・仏・西・露・中・日・朝鮮語併記 M2-K4

**우리 과학 100년**/박성래, 신동원, 오동훈 지음. — 서울: 현암사, 2001. 10. — 359p; 20cm. — (방일영문화재단 한국문화예술총서; 13).  
参考文献: p[354]-355 索引あり  
(私たちの科学 100 年) M35-K6

**음성과학 용어 번역 사전**: 영-한, 한-영/구희산, 고도홍 외 공편. — 서울: 한국문화사, 2001. 1. — vii, 327p; 23cm  
参考文献: p325-327  
(音声科学用語翻訳辞典:英韓, 韓英) MC81-K1

**우리나라 민물고기 대백과** = Prof. Dr. Lim's encyclopedia of Korean native freshwater fishes/ 임동주 저. — 고양: 마야, 1999. 12. — 245p; 31cm  
(韓国淡水魚大百科) RA6-K4

**한국어류검색도감** = Fishes of Korea with pictorial key and systematic list/윤창호 지음. — 서울: 아카데미서적, 2002. 5. — 747p; 27cm  
인용문현: p703-708  
(韓国魚類検索図鑑) RA6-K5

**韓國의 菜蔬**/李愚升著. — 대구: 慶北大學校出版部, 1994. 5. — 532p; 25cm  
(韓国の菜蔬) RB181-K1

**한국농작물백과도감** = Korea crop encyclopedia/ 송홍선 저. — 서울: 풀꽃나무: 민속식물연구소, 1998. 9. — 736p; 27cm  
(韓国農作物百科図鑑) RB2-K5

**韓國樹木害蟲** = Insect pests of trees and shrubs in Korea/李範英, 鄭榮鎮著. — 서울: 성안당, 1997. 5. — 459p; 22cm  
索引あり 監修: 韓國樹木保護研究會 RB361-K1

**韓藥資源流通 및 貯藏學** = Distribution and preservation of herbal medicine/전국생약학교수협의회 편. — 서울: 정담, 1997. 6. — X, 311p; 27cm  
索引あり SD121-K3

**韓藥資源植物學**/張相文, 廉昇鉉, 朴宣東 共著. — 개정판. — 서울: 學文出版, 1999. 2. — 691p; 27cm  
各章末参考文献あり 索引あり SD121-K4

## &lt;学術一般・ジャーナリズム・図書館&gt;

韓國放送 70 年史 / 「한국방송 70 년사」 편찬위원회  
 편저; [本編], 별책. — 서울: 韓國放送協會: 한국  
 방송공사, 1997. 10. — 2 冊; 31cm  
 放送史年表: 別冊 p4-323 索引あり UC237-K7

공공도서관요람. — [서울]: 공공도서관협의회, 1999.  
 — 168p; 19cm  
 (公共図書館要覧) UL245-K2

藏書目録/韓國精神文化研究院圖書館司書課編: 西洋  
 書篇 1(上), 西洋書篇 1(下). — 城南: 韓國精神文  
 化研究院, 1995. 2. — 2 冊; 27cm. — (一般資料叢  
 書; 95-2, 3). UP115-K1

연변대학도서관조선문도서소장목록: 인문사회과학편:  
 1949-1995/한철 주필; 인문사회과학편 1,  
 인문사회과학편 2. — 연길(中國): 연변대학출판사, 1996.  
 — 2 冊; 26cm UP115-K18

古書目錄 = Catalog of oriental classics/成均館  
 大學校東아시아學術院尊經閣編; 第3輯. — 서울:  
 成均館大學校出版部, 2002. — 553, 149p; 27cm  
 UP115-K24

조선출판물목록 = Catalogue of Korean Publications  
 /조선출판물수출입사 [편]; 3. — 평양:  
 조선출판물수출입사, 2001.5. — 611p; 26cm  
 索引あり 3: 1990-2001  
 (朝鮮出版物目録) UP6-K10

奎章閣韓國本圖書解題續集/서울大學校奎章閣[編];  
 經·子部 2. — 서울: 서울大學校奎章閣, 2001. — iv,  
 630p; 27cm UP72-K5

奎章閣所藏文集解說/서울大學校奎章閣[編]; 7. —  
 서울: 서울大學校奎章閣, 2001. — ix, 892p; 27cm  
 17 世紀(口-曰) UP72-K7

조선 대백과 사전; 18. — [평양]: 백과사전출판사,  
 2001. — 672p; 30cm  
 조선 민주 주의 인민 공화국  
 (朝鮮大百科事典) UR7-K3

조선 대백과 사전; 27. — [평양]: 백과사전출판사,  
 2001. — 660p; 30cm  
 약수 - 용원성파쥐  
 (朝鮮大百科事典) UR7-K3

조선 대백과 사전; 29. — [평양]: 백과사전출판사,  
 2001. — 680p; 30cm  
 일본주의 - 웨족  
 (朝鮮大百科事典) UR7-K3

## アジア地域の国立図書館のホームページ(1)

今回から数回にわたって、アジア地域の国立図書館のホームページについて紹介します。内容、完成度に違いはありますが、各館の活動状況や提供サービス、所蔵する情報資源について知ることができます。

### 中国国家図書館

<http://www.nlc.gov.cn/> (last access 2003. 5. 14)

中国国家図書館は1909年開館の京師図書館に始まる長い歴史を持つ。納本図書館として国内刊行出版物はすべて収集し、全国書誌を作成している。蔵書数は図書約880万冊、雑誌約87,000タイトル、新聞5,700タイトル、漢籍、敦煌文献、甲骨、金石拓片、地方志、族譜などの貴重資料を豊富に所蔵している。

トップページには、「文献検索」、「读者指南」、「国图概况」、「动态信息」、「特色服务」、「数字资源」、「科学研究」、「编辑出版」、「读者服务」、「数字图书馆」の10項目がある。

その豊富な蔵書を検索するOPACを利用するには、まず、トップページで「文献検索」を選択すると「ID入力」、若しくは「匿名登录」が求められる（「文献検索」から「中西文书刊目録検索」を選択してもよい）。ID登録すると貸出中など資料の動態を知ることができたり、予約サービスを受けられるようである。蔵書検索だけが目的であれば直接「匿名登录」を選択し検索画面に入る。検索できる資料は、中国語や欧文の図書、雑誌、新聞、音楽映像資料のほか、学位論文、漢籍、金石拓片、敦煌吐魯番文献などである。

当誌の「お知らせ」やアジア情報室ホームページ([http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/asia\\_copyinfo.html](http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/asia/asia_copyinfo.html)) (last access 2003. 5. 14)で紹介しているように、中国国家図書館では個人向けに海外複写サービスを行なっている。日本では入手の難しい中国語雑誌の論文なども、中国国家図書館の豊富な蔵書を利用することで日本にいながら入手することができる。

「国图概况」では、中国国家図書館の1世紀にわたる歴史が紹介されている。また、中国图书馆学会、ISSN中国国家中心以外にも中国数字图书馆有限责任公司など、中国国家図書館と関係のある民間企業ともリンクがはられている。

「数字資源」では、同館が電子図書館プロジェクトの一環として進めている資料電子化の成果の一部が公開されている。石刻拓片、敦煌文献、地方志の画像データである。資料のデジタル化は1999年信息网络部に設置された电子信息服务中心で行われているが、プロジェクト全体の進捗状況は明らかでない。

中国国家図書館では現在、『中国图书馆学报』、『国家图书馆学刊』、『文献』、『文津流觴』の4タイトルの雑誌を出版している。前3誌の過去数年分の目次情報は「编辑出版」で紹介されている。また、2001年5月に創刊された『文津流觴』は、トップページにメニューが設けられ、創刊号からすべての卷号の全文が公開されている。

「数字图书馆」では、国家プロジェクトである中国数字図書館工程のほか、2007年完成を目指す同館の第2期工事（建築面積64,766m<sup>2</sup>）および国家デジタル図書館建設（同12,921m<sup>2</sup>）に関する情報が得られる。



## フィリピン国立図書館

The National Library of the Philippines

<http://www.nlp.gov.ph/> (last access 2003. 5. 11)

ホームページは英語で作成されており、国立図書館の総合案内、サービス、コレクション、OPAC、リンク、FAQ の項目がある。

総合案内の沿革によれば、スペイン植民地時代の後、アメリカの統治下に入ったフィリピンでは、1900 年に在留米人のためのアメリカ巡回図書館がマニラで組織された。翌 1901 年、その蔵書約 1 万冊の英書がアメリカ軍政府に寄贈されたのをもって、フィリピンにおける公立図書館の創設としている。その後フィリピン政府に移管され、博物館等との合併や分離、移転、名称変更を経て、1961 年現在の地に建物を建設、1964 年に国立図書館となった。現在約 127 万点を所蔵する。

総合案内では沿革のほか、国内出版物の網羅的な収集と保存、全国書誌目録サービスの提供、公立図書館システムの中核機能といった国立図書館としての任務や目的が述べられている。また組織について、アジア・オセアニア、目録、蔵書構成、国内出版物、政府刊行物、公立図書館、レファレンスなどで構成された 11 部門のそれぞれの機能とセクションが紹介されている。

サービスの項では、国内出版物、レファレンス、アジア・オセアニア資料、視覚障害者用資料、マルチメディアセンター、政府刊行物といった 6 つの閲覧室や OPAC、利用案内、フィリピン図書館情報ネットワーク (PUBLIN)、移動図書館などについて案内している。

OPAC は 1997 年に国内出版物資料室で公開された。現在、国内出版物、外国資料、新聞・雑誌の記事索引、AV 資料が著者、タイトル、主題、注記から、あるいはその組み合わせによって検索できる。なお、OPAC は現在館内利用のみのようである。

## インドネシア国立図書館

Perpustakaan Nasional Republik Indonesia

<http://www.pnri.go.id/> (last access 2003. 5. 10)

インドネシア国立図書館は、1980 年 5 月、包括的な国立図書館組織の実現と発展を理念として国立博物館図書館など 4 つの図書館を統合して設立された。1989 年には 26 の地方図書館と図書館開発センターを合併、1990 年には国立博物館図書館の前身に適用されていたものの 1945 年の独立後は消滅していた納本義務が法令化された。図書館としては、おもに社会科学・人文科学分野のサービスを提供している。

ホームページは現在のところ OPAC のほか一部を除いて、ほとんどインドネシア語で表記されている。項目は、納本、図書館ネットワーク、コレクション、サービス、組織、教育・トレーニングなどである。

コレクションの項では、定期刊行物、レファレンス資料といった一般的なもののかに、特別コレクションとして伝統的なロンタール(貝多羅葉文書)や樹木の皮・竹を利用したマニュスクリプト(写本)、地図、絵画、18 世紀以降の学術論文、点字資料、AV 資料、マイクロ資料などが紹介されている。

サービスの項では、メディア変換、利用者登録、レファレンス、クリッピングサービスなどを案内する。

OPAC の検索方法には、著者など検索する項目を指定し、単語や語句を入力する単語・文節検索、検索項目を指定し、さらに AND、OR、NOT 機能を使用して検索する組み合わせ検索、検索式を使った組み合わせによって検索するブール検索がある。また、利用者が ID とパスワードを入力して自分の利用情報を確認することができる。リクエスト項目として ILL、レファレンス、予約、購入リクエスト、整理督促などのサービスがあり、いずれもメールフォームを用いて利用することができるようになっている。

## マレーシア国立図書館

Perpustakaan Negara Malaysia

<http://www.pnm.my/> (last access 2003. 5. 16)

マレーシアでは IT 産業の誘致、育成等を柱としたマルチメディア・スーパー・コリドー計画が進められているが、その一環である電子図書館構築のパイロット・プロジェクト「Mylib」(<http://www.mylib.com.my>) にトップページから入ることができる。国内外のあらゆる情報がリンクされた「Mylib」のトップページには国立図書館、マルチメディア開発公社、テレコムマレーシアがパートナーとしてあげられている。

さてホームページに戻り「COLLECTIONS」に入ってみる。その中でも「Manuskrip Melayu」と「National collection」を取り上げてみたい。「Manuskrip Melayu」ではマレー語をアラビア文字の借用で表記した、ジャウィ文字のマニュスクリプトを、ほんの一部ではあるが、カラー画像で見ることができる。ムラカ王国の大英雄ハン・トゥアが王に忠誠を尽くす『Hikayat Hang Tuah (ハン・トゥア物語)』、18 世紀後半のペラ王国の『Misa Melayu (ミサ・ムラユ)』など、普段なかなか目にすることのできない写本はとても興味深い。また 1986 年に制定された納本制度により、国内のすべての出版者は印刷体資料 5 部、非印刷体資料は 2 部国立図書館に納めることになっているが、「National collection」はそれらの資料によって構成されている。

「CORPORATE INFORMATION」には組織、歴史、館法などが載っており、実際利用したい場合には「SERVICES」を参照すればよい。OPAC は Telnet 接続である。

ホームページは英語で見ることができるが、より詳しい情報が載っているマレー語での利用を勧めたい。

## シンガポール国家図書館管理局

National Library Board

<http://www.nlb.gov.sg/> (last access 2003. 5. 15)

シンガポール国立図書館は国立図書館と公共図書館の機能をあわせもつ、世界でもあまり例をみない図書館といわれていたが、1995 年、国家図書館管理局 (National Library Board : NLB) 設立とともに改組された。

情報通信芸術省傘下の NLB は現在、国立図書館、2 つの地域図書館、18 のコミュニティ図書館、43 のコミ

ユニティ児童図書館を運営、管理している。「About Us」により組織の概略を知ることができる。

「Librarian's Choice」の「read reviews」をクリックすると、本の表紙の画像がついた書評が現れる。「Submit Your Reviews」では自分で書評を書きメール送信することも可能だ。

目録は「Home」の「Catalogue」をクリックする。NLBかSAFTI Military Institute Library(国軍訓練教育機関図書館)を選択する。NLBのOPACには簡易検索と詳細検索があり、所蔵館、請求記号、ステータス(貸出の可否、予約中、参考図書など)がわかる。英語の他、中国語、マレー語、タミル語からも検索できる。ちなみに、「About Us」中の2001年度年報によればその蔵書数は、マレー語図書553,073冊、逐次刊行物(以下、「逐刊」)32,281冊、中国語図書1,695,183冊、逐刊81,569冊、タミル語図書187,931冊、逐刊25,866冊、英語図書4,277,007冊、逐刊527,672冊である。

「Home」から「Our Libraries」に入ると登録方法や各図書館の利用時間、地図が載っている。永住者、外国人の登録にはパスポート、\$10.40の登録料などが必要である。また「Home」の「New National Library building Updates」には2004年開館予定の国立図書館新館が紹介されている。

電子図書館「eLibraryHub」も「Home」から入る。「eLibraryHub」「InfoMall」の「eBooks」では、10,000タイトルの電子書籍の全文を読むことができる。「keywords: Japan」で検索してみたところ、ラフカディオ・ハーンの『怪談』他7タイトルがヒットした。なお、「eLibraryHub」のすべての機能を利用するには「Join eLibraryHub」で登録しなければならない。

## ベトナム国家図書館

Thư viện Quốc gia Việt nam

<http://www.nlv.gov.vn/> (last access 2003.5.14)

ベトナム国家図書館(Thư viện Quốc gia Việt nam)は、1919年に設立され、1945年のベトナム民主共和国時代に名称を現在の国家図書館と変更した。現在国家図書館は情報文化省の傘下にあり、11の局と1つの委員会で構成されている。

国家図書館の組織については「Giới thiệu thư viện」(図書館紹介)やその内部の「Cơ cấu tổ chức TVQG」(国家図書館の組織機構)などに詳しい。

OPACの検索は、「Tra cứu sách」(本の検索)から行うことが出来る。「Tra cứu sách」に入ると、左側のナビゲーションバーに、一般検索である「Tra cứu」(検索)、組み合わせ検索が出来る「Tra cứu nâng cao」(応用検索)、「Tra cứu Z3950」(Z39.50検索)、閲覧カードを持っている人が資料の予約を行える「Người dùng」(利用者)の4つのメニューが表示される。OPACの使用法については、「Giới thiệu thư viện」の中の「Các phương tiện」(方法)の「Mục lục tra cứu trực tuyến」(データベース検索法)に簡単なものが掲載されている。同じページには、OPACで検索できる資料の年代等の説明がある。

なお、国家図書館のサイトは現在のところすべてベトナム語で書かれている。英語へのリンクボタンがあ

るものまだ準備中のようだ。ベトナム語の部分も工事が多く、今後の充実が期待される。

(注) Windows 搭載のベトナム語入力機能ではこのOPACは検索できない。Unikey (<http://unikey.sourceforge.net/>) (last access 2003.5.20)などの入力ソフトを利用する必要がある。

## アジア各国の基本情報、統計データ入手するため —Country ReportとCountry Profile—

アジア情報課ではアジア各国に関する基本資料を広く収集するように努めていますが、全体的に出版物の収集は困難で、基本的な統計すら入手困難というような国も少なくありません。アジア情報課の守備範囲は近隣の東アジアから、中東・北アフリカまでを含み、その対象国数は50カ国以上になります。多くの言語が使用されており、各国・地域の新しい情報を正確に伝えることはかなり難しい場合もあります。最近ではほとんどの国・地域についてインターネット情報を利用することができるようになりましたが、印刷媒体による情報提供の重要さは変わりません。

印刷媒体の資料として、対象国・地域の基本情報・事情を知るために有効なのが、「Country Report」と「Country Profile」です(以下、「Report」「Profile」)。

この Report と Profile は英国の経済週刊誌「The Economist」の調査部門である The Economist Intelligence Unit(EIU)社が発行する雑誌で、世界約200ヶ国の政治、経済の最新動向を分析・報告しているものです。

Report は季刊で、その国の政治・経済動向を紹介するとともに、統計データを豊富に載せています。目次立ては、各国・地域共通で、概観、政治体制、経済体制、今後2年間の展望、政治状況、経済政策、国内経済および対外貿易となっています。

Profile は年刊で、直近1年間の政治・経済動向を簡単にまとめると同時に、Reportと同じく関連統計データを多く載せています。目次立ては、これも各国・地域共通で、基本データ、政治動向、資源・インフラ、経済情勢、国内経済、対外経済、付録という構成です。

Report、Profileともに多くの統計データと図表を収録しており、視覚的に経年変化を捉えることができます。また、収録する統計データには若干の異同があるものの、例えば、Profile の基本データでは、面積、人口(都市別もあり)、気候、使用言語、度量衡、通貨、世界標準時との時差、祝祭日などを必ず載せているため、国別の比較をする場合にも役に立ちますし、特定の項目についてはすぐにこの資料を案内することができます。

アジア情報課では現在出版されている約200カ国の中、対象とする54カ国・地域のものを所蔵し、開架しています。(別表参照)

関連する出版物が少なく、日本語資料では情報収集が難しい国についても出版されている、記載が英語で

あるなどの理由で、有用な資料といえます。因みに、併せて利用すれば有効である日本語の資料である「ARCレポート」(世界経済情報サービス社)は、中国、台湾、香港、韓国、北朝鮮、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュ、イラン、イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、エジプトの22カ国について刊行されています。

ではこの Report と Profile を使って UAE はどんな国なのか見ていきたいと思います。

UAE(アラブ首長国連邦=United Arab Emirates)はサッカーなどではなじみのある国ですが、この国に関する日本語文献は多くありません。「発展途上地域日本語文献目録 2001」(アジア経済研究所図書館編、日本貿易振興会アジア経済研究所 2002年)には単行書が2点、雑誌論文7件が収録されているだけです。

まず、Profile の基本データを見てみます。国土面積8万3600km<sup>2</sup>。総人口348万人。アブダビ、ドバイ、シャルジャ、ラス・アル・ハイマ、フジャイラ、アジュマン、ウンム・アル・カイワインの7つの首長国から構成。公用語はアラビア語で、英語はひろく通用するとあります。通貨はディルハム(AED、1ドル=3.67AED)、世界標準時との時差は4時間、祝祭日には、「モハメッド生誕日」「連邦結成記念日」などがあります。日本との関連では、輸出入関連の付表「Main Trading Partners」で、輸入相手国3位が日本、輸出相手国1位が日本となっていることがわかります。最近の経済状況については、Reportの経済体制の項で1998年から2002年までのGDPなどを示すとともに、国内、対外経済の状況について述べられており、この数年間の経済状況を把握することができます。

Report と Profile はアジア情報室の一番奥の雑誌架に「ARC レポート」と並んで開架しています。国の位置を示した地図と国名を記載してある黒い表紙の資料です(2003年より Report は水色、Profile はクリーム色になっています)。

なお、アジア以外の諸外国の Report は関西館文献提供課、Profile は東京本館で所蔵しています。

(別表)

地域	国名	Country Profile	請求記号	Country Report	請求記号
コリア	韓国、北朝鮮	South Korea, North Korea	Z61-E799	South Korea	Z51-P892
				North Korea	Z76-A83
西アジア	バーレーン、カタール	Bahrain, Qatar	Z61-E796	Bahrain	Z51-M286
				Qatar	Z51-R875
西アジア	オマーン	Oman	Z61-E797	Oman	Z51-P871
西アジア	イラク	Iraq	Z61-E851	Iraq	Z51-H099
西アジア	イラン	Iran	Z61-E852	Iran	Z51-H139
西アジア	シリア	Syria	Z61-E853	Syria	Z51-M285
西アジア	レバノン	Lebanon	Z61-E854	Lebanon	Z51-M283
西アジア	チュニジア	Tunisia	Z61-E866	Tunisia	Z51-N435
西アジア	エジプト	Egypt	Z61-E886	Egypt	Z51-H138
西アジア	トルコ	Turkey	Z61-E895	Turkey	Z51-H075
西アジア	リビア	Libya	Z61-E896	Libya	Z51-K037
西アジア	アルジェリア	Algeria	Z61-E897	Algeria	Z51-K001
西アジア	クウェイト	Kuwait	Z61-E898	Kuwait	Z51-M287
西アジア	ヨルダン	Jordan	Z61-F001	Jordan	Z51-N424
西アジア	アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	Z61-F003	United Arab Emirates	Z51-M288
西アジア	サウジアラビア	Saudi Arabia	Z61-F004	Saudi Arabia	Z51-M284
西アジア	スーダン	Sudan	Z61-F014	Sudan	Z51-K325
西アジア	モロッコ	Morocco	Z61-F038	Morocco	Z51-J507
西アジア	キプロス、マルタ	Cyprus, Malta	Z61-F054	Cyprus, Malta	Z51-R019
西アジア	イスラエル、	Israel, the Occupied Territories	Z61-F058	Israel, the Palestinian Territories	Z51-H076
西アジア	トルクmenistan	Turkmenistan	Z61-G594	Turkmenistan	Z51-R657
西アジア	イエメン	Yemen	Z61-G597	Yemen	Z51-R658
中央アジア	キルギス、タジキスタン	Kyrgyz Republic, Tajikistan	Z61-E844	Kyrgyz Republic	Z51-R021
				Tajikistan	Z76-A85
中央アジア	グルジア、アルメニア	Georgia, Armenia	Z61-G024	Georgia	Z51-R194
				Armenia	Z76-A82
中央アジア	カザフstan	Kazakhstan	Z61-G025	Kazakhstan	Z51-R552
中央アジア	アゼルバイジャン	Azerbaijan	Z61-G212	Azerbaijan	Z51-R449
中央アジア	ウズベキستان	Uzbekistan	Z61-G213	Uzbekistan	Z51-R553
中国	中国	China	Z61-E834	China	Z51-P891
中国	台湾	Taiwan	Z61-E899	Taiwan	Z51-N173
中国	香港、マカオ	Hong Kong, Macau	Z61-E900	Hong Kong, Macau	Z51-N128
東南アジア	マレーシア、ブルネイ	Malaysia, Brunei	Z61-E850	Malaysia, Brunei	Z51-G118
東南アジア	シンガポール	Singapore	Z61-E858	Singapore	Z51-N099
東南アジア	カンボジア、ラオス	Cambodia, Laos	Z61-E888	Cambodia, Laos	Z51-R167
東南アジア	フィリピン	Philippines	Z61-E894	Philippines	Z51-G120
東南アジア	インドネシア	Indonesia	Z61-F050	Indonesia	Z51-G117
東南アジア	タイ	Thailand	Z61-F062	Thailand	Z51-R168
東南アジア	ベトナム	Vietnam	Z61-F482	Vietnam	Z51-R169
東南アジア	ミャンマー(ビルマ)	Myanmar (Burma)	Z61-G139	Myanmar (Burma)	Z51-R299
南アジア	インド	India	Z61-E857	India	Z51-F236
南アジア	パングラデイシ	Bangladesh	Z61-F005	Bangladesh	Z51-N422
南アジア	スリランカ	Sri Lanka	Z61-F022	Sri Lanka	Z51-G115
南アジア	パキスタン、アフガニスタン	Pakistan, Afghanistan	Z61-F037	Pakistan	Z51-G119
				Afghanistan	Z76-A84
南アジア	ネパール、モンゴル、ブータン	Nepal, Mongolia, Bhutan	Z61-H200	Nepal, Mongolia, Bhutan	Z51-R888

## レファレンス事例紹介

### 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）に関する基本資料

最近、朝鮮半島情勢の話題がニュースにとりあげられない日はないといつてもいいぐらいですが、アジア情報室にも朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）（以下、「北朝鮮」）に関する問い合わせが寄せられます。日頃のレファレンスサービスでよく使用する基本資料3点を紹介します。

**① 「북한연감（北韓年鑑）2002」（서울 연합뉴스年刊）（当館請求記号 Z41-AK202）**

大韓民国（韓国）の通信社聯合ニュースが出版している北朝鮮に関する年鑑です。南北関係、政治、経済、文化・体育、外交、軍事、在外同胞などの分野に分けて、過去1年間に北朝鮮で起きた主要な出来事に関連する情報・資料・写真等を収録しているので、幅広い分野の最新情報を求めるには便利な資料です。

**② 「ARC レポート 2002 北朝鮮」（財団法人世界経済情報サービス 2002.12）（当館請求記号 Z41-B238）**

財団法人世界情報サービスが国・地域別に出版している世界各国の経済情報に関するレポート及び基礎データ集です。北朝鮮の政治動向、経済動向、貿易投資動向、経済貿易政策と制度、産業動向に関するレポートが多数の表とともに掲載されているほか、上記各動向や地理・環境等に関する基礎データが収録されています。

**③ 「北朝鮮の現況：重要基本資料集. 1998」（RP プリントイング 1998.7）（当館請求記号 GE138-G56）**

ラヂオプレスが編集した資料集で、北朝鮮が国連に提出した統計資料および国連や韓国が発表した北朝鮮に関する推計資料が収録されています。1998年発行ということで最近のデータは載っていませんが、日本語で、政治・軍事・経済・外交・社会・文化など北朝鮮に関する多様な情報を得るには有用な資料です。

では、文書による問合せがあった「現在、北朝鮮がどれだけの国と外交関係を結んでいるか？また、各々の国交樹立年はわかるか？」について、上掲三つの資料で調べてみます。

①2001年6月現在国交を樹立している国数（150カ国）を掲載。

②2002年11月現在国交を樹立している国とその数（159カ国）を掲載。

③1998年6月1日現在国交を樹立している国とその数（134カ国）および国交樹立年を掲載。

そこで、国交を樹立している国数については、最新データが載っている②「ARC レポート 2002 北朝鮮」から、国交樹立年については③「北朝鮮の現況：重要基本資料集. 1998」の記載データから回答しました。

このほか、「アジア動向年報」（アジア経済研究所）（当館請求記号 Z41-118）や、朝鮮語資料ですが北韓研究所刊行資料も併せて参考すべき基本資料です。

「アジア情報室では北朝鮮で発行された新聞・雑誌をもっているか？」。

これもよく尋ねられる質問です。当情報室では、北朝鮮で發

行された新聞・雑誌のうち、継続して受入れているものの多くを以下のとおり開架しています。（2003年5月15日現在）。開架している以外の巻号やタイトルについては、アジア言語OPAC (<http://asiaopac.ndl.go.jp/>) で所蔵年次・巻次をお調べのうえ、アジアカウンターまでお申し込みください。

#### 開架新聞

請求記号	紙名
Z91-AK14	민주조선（民主朝鮮）
Z91-AK15	로동신문（労働新聞）
Z91-AK28	통일신보（統一新報）

#### 開架雑誌

請求記号	誌名
Z3-AK58	경제연구（經濟研究）
Z8-AK1	조선고고연구（朝鮮考古研究）
Z8-AK45	역사과학（歷史科學）
Z8-AK46	천리마（千里馬）
Z8-AK47	조선녀성（朝鮮女性）
Z9-AK8	철학연구（哲學研究）
Z11-AK39	조선예술（朝鮮藝術）
Z12-AK1	조선어문（朝鮮語文）
Z12-AK21	조선문학（朝鮮文學）
Z14-AK3	과학의 세계（科學の世界）
Z14-AK32	조선민주주의인민공화국과학원통보 （朝鮮民主主義人民共和國科學院通報）
Z14-AK33	발명 공보（發明公報）
Z15-AK16	외국과학기술통보. 물리, 수학 （外國科學技術通報 物理, 數學）
Z16-AK12	기계공학（機械工學）
Z16-AK25	기술혁신（技術革新）
Z16-AK26	외국과학기술통보. 전자자동화 （外國科學技術通報 電子自動化）
Z17-AK2	분석（分析）
Z17-AK34	외국과학기술통보. 경공업 （外國科學技術通報 輕工業）
Z18-AK35	생물학（生物學）
Z18-AK40	외국과학기술통보. 농업（外國科學技術通報 農業）
Z18-AK41	외국과학기술통보. 수산（外國科學技術通報 水產）
Z18-AK42	외국과학기술통보. 수의축산 （外國科學技術通報 獣醫畜產）
Z19-AK36	조선의학（朝鮮醫學）
Z19-AK38	외국과학기술통보. 의학（外國科學技術通報 醫學）

## アジア情報研修を終えて

平成15年2月27日(木)、28日(金)の2日間、関西館第1研修室で第1回のアジア情報研修を実施した。以下にその概要を報告する。

### 1. アジア情報研修とは

関西館のアジア情報室は、国立国会図書館のアジア情報サービスの中核としてアジア関係の資料・情報の収集、提供につとめるとともに、アジア情報機関の一つとして国内外の関係機関との交流、相互協力をも活動の柱の一つとしている。アジア情報研修はその具体的な取り組みの一つとして企画された。国立国会図書館ではこれまで対外的に各種の研修を実施してきたが、アジア情報、資料に関する研修はこれが初めてである。

アジア情報研修は、アジア資料・情報を携わる図書館員(当館職員を含めて)がアジアに関する情報資源について基礎的な知識を習得し、業務の改善・発展に役立ててもらうとともに、アジア情報に関する全国の図書館員が交流し、それぞれの抱える問題等を話し合う機会を提供することを目的としている。

### 2. 研修内容と実施状況

実施に先立ってホームページや『国立国会図書館月報』『図書館協力通信』で広報を行うとともに、最初ということもあり、平成11年度に当館が実施した「国内におけるアジア情報の利用実態に関する調査」の協力館には直接案内文書を送付した。

参加者の内訳は、下表(単位:人)のとおりである。

	近畿	首都圏	中部 北陸	九州	合計
大学 図書館	15	12	4	1	32
公共 図書館	7	1	-	-	8
合 計	22	13	4	1	40

地域的には近畿、館種別には大学図書館からの参加が多いのは予想していたが、近畿地区以外の大学図書館からの参加者が多かったことは、本研修開催の趣旨からしてもうれしいことであった。

今回の研修内容を以下に紹介する。

2月27日(木)

「アジア研究と資料－東南アジア研究の視点から」

(講師: 京都大学東南アジア研究センター助教授: 速水洋子 同助手: 北村由美(図書室主任))

速水講師が東南アジア、特にタイの地域研究を専門とする立場から、研究者が必要とする資料が時代の推移、学問それ自体の展開に応じてどう変化し、拡大していくかを研究史という枠の中で整理し、NangsuChaek という葬式頒布本などのユニークな資料

を紹介した。また北村講師は東南アジア研究センター図書室の資料収集(21世紀 COE プログラムによる収集を含む)や所内の CD-ROM やインターネット情報の提供などについて報告した。東南アジア研究センターでは東南アジア諸国から客員スタッフを招聘する制度があり、6人のポストのうち必ず1人は図書室付きとなるという。アジアの図書館との人材交流の好例といえよう。

「アジアの統計情報の入手と提供－中国、韓国を中心」(講師: 日本貿易振興会アジア経済研究所図書館課長代理 伊藤えりか)

アジア経済研究所図書館の概要についてまず紹介したあと、同図書館で最も特色のあるコレクションの一つである統計資料およびインターネット上の統計サイトについて講義を行った。具体的なレファレンス事例をまじえつつ基本的かつ重要な統計資料の一つ一つの特徴、データの読みかたを丁寧に解説し、翌日からすぐにレファレンスの現場で役立つような実戦的な講義であった。

「関西館アジア情報室について」(講師: 関西館アジア情報課長 富塙高志)

アジア情報室の沿革、機能、サービスのほか、情報資源の収集や整理、情報発信や協力活動等について説明し、また現時点で見えてきた当情報室の問題や課題についても言及した。その後引き続きアジア情報室や書庫の見学を行った。

2月28日(金)

「南アジア研究の情報資源」(講師: 神戸市外国語大学助教授 大石高志)

南アジアについて近現代史や地域研究に有用な資料やサイトを紹介した。初心者が当惑する、数が多く「くせのある」現地資料の中から、何を選びどう読むべきかについて、講師の現地体験などを交えながらユーモアたっぷりにわかりやすく解説された。

「大学におけるアジア研究と関係資料の収集」(講師: 大阪外国語大学附属図書館専門員 岸本晴広)

大阪外国語大学附属図書館の資料収集活動とその問題点についての報告は、受講生たちにとって実務的な面で大いに参考になりうる内容であった。また、同大学で構築したヒンディー語検索システムについても紹介された。

「国立国会図書館のアジア言語 OPAC－利用ガイド」(講師: 関西館アジア情報課 鶴田潤)

実際に PC を使いながら検索方法を紹介した。受講生からは、アジア言語 OPAC に入力されていない 1985 年以前に当館が受け入れた中国語図書の遡及入力の予定などについて質問があった。

### 3. 受講生の評価と要望

研修終了後、受講生の方にアンケートをお願いした。

全体の評価としては、概ね肯定的な評価をいただいたが、これは今回初めてということで、とりあえず及第点をいただいたということかもしれない。

次回以降の研修の内容については、多言語対応データベースの構築や特殊言語の整理等の日常業務に密着した内容やアジアの図書館、出版・流通事情に関連するものといった希望のほか、3年くらいの長期的計画を組み立てた上で研修科目を設定して欲しいという意見も出された。研修方法については、地域、テーマを絞る、基本的コースと専門的コースの二本立て、講義方式と演習方式を組み合わせるなどの提案があった。

#### 4. おわりに

本研修は今後も年1回で継続的に開催する予定であり、第2回となる今年度は年内に実施したいと考えている。研修内容については、アンケートでいただいた提案も参考にしながら、アジア関係情報や資料に携わる図書館員に何が必要とされるかという視点に立って今後数年間のテーマ設定を考えていきたい。

今回同様ホームページや当館月報のほか、本誌でもお知らせする。アジアに関心を持たれる関係者の参加を心からお待ちしている。



## アジア情報関係機関との懇談会の開催

富窪高志（アジア情報課長）

### 懇談会の目的・経緯

平成15年2月28日（金）、標記懇談会を当館関西館で行った。今回は、平成13年11月に東京本館で開催したのに続き第2回目である。東京本館で開催した第1回には首都圏の12機関、15名の関係者の参加を得た。その内容については『アジア資料通報』第39巻6号で報告したところであるが、開催の目的は、「国全体としてのアジア情報資源の充実、アジア情報の流通促進を図るために、国内関係機関の連携と協力が必要不可欠である」という認識のもと、「第一段階として、人的関係を構築し問題意識を共有できる場を設けたい」というものであった。

今回も同様の認識、目的のもと開催したものであるが、第1回で出された「具体的な協力事業への発展」の足がかりにしたいということもあった。

参加機関と参加者は以下のとおりである。

（敬称略）

アジア図書館（事務局長 坂口勝春）

大阪外国语大学附属図書館

（専門員 岸本晴広）

大阪府立中央図書館

（閲覧第二課長 福井多恵子）

京都大学人文科学研究所

（図書掛長 小菅敏明）

京都大学東南アジア研究センター

（助手 図書室主任 北村由美）

慶應義塾大学メディアセンター本部

（木藤るい 情報管理課課長代理）

国際交流基金アジアセンター・ライブラリー

（国内事業課専門員 司書 郡山真美）

東京都立中央図書館（サービス部資料管理課海外資料係主任 安藤義教）

東京外国语大学附属図書館

（専門員 内島秀樹）

日本貿易振興会アジア経済研究所図書館

（館長 橋本真治）

当館からは関西館資料部長村上正志、主題情報部主任司書相島宏と筆者が参加した。

先ず、当館村上関西館資料部長から、当館における公共図書館を対象にした全国総合目録事業に見られるように「協力」（cooperation）から「共同」（collaboration）が必要とされる時期であり、本懇談会が「共同」へ踏み出すための契機になることを期待する旨の挨拶があり、その後参加者が所属機関の紹介とともに自己紹介を行った。続いて筆者が、平成14

年10月にサービスを開始した関西館アジア情報室のサービス概要について紹介を行ったのち、「アジア情報関係機関の協力関係の構築について」と題する報告を行った。概要は次のとおりである。

### 相互協力の前提

図書館が多様化・増大する利用者の情報ニーズに最大限に応えようとするならば、単独の資源（情報、人員）では限界があり、相互の協力が必要となる。個々の機関が所蔵する情報資源は国全体の情報資源の一部を構成するものであるという共通の認識に立つことが協力の前提である。

### これまでの協力活動

アジア関係については、新しくは国立情報学研究所を中心とする中国語、韓国語・朝鮮語の共同目録作成を始め、各種の総合目録の編纂が行われてきた。また、個人的なネットワークや相互訪問等によって情報や意見交換を行ってきた。これら一つ一つの取組み、特に総合目録の編纂は自館にない資料提供という面で利用者サービスに大きく貢献するものであった。しかし、こうした活動や取組みは必ずしも組織的な連携・ネットワーク化への動きに発展することはなかったのではないか。

### 今後の協力活動

組織的な連携・ネットワーク化が未整備な現段階においては、関係機関全体で一つのプロジェクトを企画・実施する制度的・組織的な条件が整っていないと思われる。まず、個々の機関が企画・実施する事業のうち、相互協力の中で進めることができ適当な事業について関係機関の協力を得る。具体的には、事業を企画・実施する機関が事務局となり、協力担当者を複数の機関に依頼し、事務局が作成する事業企画案について、各機関の協力担当者と意見交換を行い実施案を作成、実施に移していくやり方である。

### 懇談会について

今後、懇談会は年1回開催することとし、平成15年度については国立国会図書館が開催時期、場所等について各機関と連絡・調整し決定する。また、懇談会は当面ゆるやかな組織体とし、各機関の事業紹介と必要によって協力の要請を行う場、協力を仰いだ事業の進捗状況を報告する場および意見交換をする場としたい。

### 国立国会図書館が行う事業と協力関係

以上の報告を踏まえて、①平成14年度に始めて行ったアジア情報研修の企画と講師派遣に対する協力、②

平成15年3月に刊行した本誌の原稿執筆への協力、そして今後予定する事業として③「アジア関係機関ダイレクトリー(仮称)」の作成に対する協力をお願いした。

アジア関係機関ダイレクトリーは、国内の関係機関を広く収録し、今後の協力活動を進めるための基礎的ツールとして、また、利用者に対し的確な類縁機関情報を提供することで利用者サービスの向上にもつながるものであり、平成15年度に関西館資料部アジア情報課として取り組んでいきたいと考えている。

### 意見交換

懇談会そのものについての考え方には特に異論はなかったが、協力事業については例えば、一定レベルの資料はどこでも所蔵しているがそれを超えるレベルになるとどこももないという国内のアジア資料の現状を考慮し、分担収集を視野に入れた方向を目指すべきであり、ダイレクトリーの作成もそれを踏まえて作成すべきではないか等の意見が出された。意見交換を経て、ダイレクトリーについてはアジア情報課で原案を提示することとなった。

最後に、次の3機関から簡単な報告があった。

慶應義塾大学からは、平成15年度内に公開を予定する、主に1970年以降の収蔵資料約10万件（中国語資料が90%を占める）の書誌データベースである「中国語・韓国語・アラビア語データベース」、および近く刊行予定のアラビア語図書約3,000冊のほか和漢書と洋書約11,000冊を収録する『井筒俊彦文庫目録』について紹介があった。

東京外国语大学からは“21世紀COEプログラム”として認定された「史資料ハブ地域文化研究拠点」の事業目的と今後の活動計画について、日本貿易振興会アジア経済研究所からは外部専門家に依頼して行った研究、図書館両部門を対象にした業績評価について報告があった。

年度末の慌しい時期に参加いただいたことに感謝するとともに、この懇談会を継続しながら具体的な事業の手がかりとして、先ずアジア関係機関ダイレクトリーの作成に着手していきたい。

### 見合手2003 春夏新刊（洋書）購入実績について

書名	出版社	著者	購入冊数
世界の政治小説	岩波新書	岩波新書編集部	10
世界の政治小説	岩波新書	岩波新書編集部	10
世界の政治小説	岩波新書	岩波新書編集部	10
世界の政治小説	岩波新書	岩波新書編集部	10

前号の訂正

中国国家図書館、韓国国立中央図書館の複写サービスのご案内」(p. 20)中の、中国国家図書館のFAX番号  
(正) +86-10-6841-9290 (誤) +86-010-6841-9290

アジア情報室通報（季刊）第1巻第2号 2003年6月

編集 国立国会図書館関西館資料部アジア情報課

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3

登録 国立国会図書館

〒100-8034 東京都千代田区永田町1-10-1

TEI 03 (3581) 2331 (代表)